

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こども支援センタースマイルきむら			
○保護者評価実施期間	R6年 11月 5日		～	R6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	R6年 11月 5日		～	R6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個のニーズに応じた支援の提供	・アセスメントやモニタリング、個別の相談時にお聞きした内容に基づいて、個人に必要とされるべき支援内容についても、取り出しや小集団で行っています。言語聴覚士や公認心理師による個別療育の時間を確保し、より専門性の高い療育を提供することができています。	・全ての職員が有資格者（保育士、児童指導員など）です。さらなる研鑽を重ね、専門性を高めながら、日々の療育にあたるように努めます。
2	・ペアレントトレーニング	・毎年未就学児の保護者様を対象にペアレントトレーニングを開催しています。高砂の『ひようご発達障害者支援センタークローバー』さんと連携を図り、全6回の講座を事業所内の職員が中心となって行っています。保護者様のみならず、職員のスキルアップにも繋がる大変貴重な機会として捉えています。	・毎年、保護者様同士の交流の場としても非常に意味のある場となっております。さらに多くの参加者を募れるよう、積極的な周知活動、活動報告などを行い、充実した開催を目指します。
3	・相談支援専門職員との連携	・同事業所内に相談員が常駐している為、迅速な連携を取ることが出来ます。施設内利用者様であれば、普段の様子も直接モニタリングでき、児発管と相談員のより密接な連携を図ることも可能です。	・お互いの情報を共有しながら、スムーズな連携を目指します。保護者様のニーズを把握しやすく、相談に繋ぎやすい環境を整えながら、一貫した支援を行えるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域社会との交流	・コロナをきっかけに地域社会との結びつきが弱まっている事が現状です。また、どこまで地域とのふれあいを求められているか、は各ご家庭の思いにもよりますので、内容や場所の精査も必要です。地域で生きていく為の土台作りとして何が必要とされているかを把握する事自体が課題と考えます。	・状況に合わせて必要な感染対策を取りながら、交流の機会をもてるようにします。 ・身近な地域コミュニティの情報を得たり、普段から繋がりを意識したりと職員自らが関係を作っていく必要も感じます。 ・ご家族の地域に対するニーズを適切に把握することも必要だと考えます。
2	・設備に関して	・利用者様の安全を第一に、施設内の定期点検、老朽箇所等の改修を行いたいと考えます。費用面で難しい場合もありますので、安全性や必要性などから適切な優先順位をつけて迅速に安全管理を行えるようにしていきたいと考えます。	・職員での修繕が可能な箇所であれば、都度補修作業を行います。普段からの安全意識を持ち、話し合える場を作ります。
3	・適切なミーティング時間の設定	・支援の前後にそれぞれその日のミーティングを行っています。業務改善という観点から、短時間で事後ミーティングの効率を上げる課題が挙がっています。必要事項を丁寧かつポイントを絞って全員が把握できるようにする必要があります。定められた時間内により効果のあるミーティングを行えるよう、職員が要点を絞ってまとめる力をつける事も課題です。	・司会の職員のスキルアップ。 ・それぞれが要点を絞って必要な内容のみを情報共有すること、また必要に応じて残した記録を閲覧してもらい、漏れがないようにしていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども支援センタースマイルきむら

公表日 2025年1月21日

利用児童

数

48名 (45家庭)

回収数 40

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39 (98%)	1 (2%)			・広々とした空間で活動しやすいと思います。 ・その日の利用者の人数によってですが、ややせまいのかな、と思うことがあります。	・室内での活動時には現在のスペースを有効活用し、且つ安全に配慮しながら療育を行うように努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	37 (94%)			3 (6%)	・たくさんいて良い。	・基準人員を遵守し、利用者様に対し必要な人員を確保します。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36 (92%)	3 (6%)		1 (2%)	・字がわからない子ども達にもわかりやすいよう絵で示しているところが多く工夫されていました。 ・バリアフリー化については検討が必要なのでは？と思いました。	・バリアフリー化に関しては、内容と緊急性を考慮しながら必要に応じて進めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38 (96%)	1 (2%)		1 (2%)	・部屋は清潔ですが、空調設備のカビが気になりました。	・空調は年に数回、職員による清掃と、業者によるメンテナンス・清掃を行っておりませんが、設備自体が古い事もあり汚れが取り切れない状況です。清潔に使用できるよう今後も善処いたします。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39 (98%)			1 (2%)	・本人のことをよく見てくれている為、楽しく通所できている。 ・自分の子供の特性がよく理解できない部分がある。	・引き続き、職員の研修参加、情報共有を行い、専門性の向上を目指します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38 (96%)	1 (2%)		1 (2%)		・大きな相違の無いよう、定められたプログラムを提供してまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40 (100%)					・引き続き、全職員で児童理解とニーズ把握を適切に行ってまいります。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38 (96%)	1 (2%)		1 (2%)		・4月から、以前より項目が増えたこともあり、より丁寧な説明が必要と感じています。引き続き、適切な項目設定と支援内容をわかりやすく記載できるように努めます。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	39 (98%)			1 (2%)		・引き続き支援計画に沿った内容でサービス提供ができるようにしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40 (100%)				・毎週、活動プログラムが変わってとても工夫されていると思います。 ・設定活動が週変わりであり、季節の行事なども楽しんで参加しています。	・今後も集団療育の良さを活かしながら、様々なプログラムの工夫を行っていきます。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11 (28%)	3 (6%)	7 (18%)	19 (48%)	・6月から利用させていただいてますが、利用者以外の子ども達との交流はなかったと思うのですが…。 ・他の子どもと一緒に活動とは聞きませんが公園やお出かけなど事業所外でも活動していただきありがたいです。	・コロナ以降、感染防止の観点から対外的な交流は積極的には行っておりません。感染対策をとりながら、状況を見て交流の機会を設けられるようにしていきたいと思えます。長期休業中などには近隣の公園や地域の遊び場などに出向いていますので、交流を生むきっかけとしていきたいです。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40 (100%)					・引き続き丁寧な説明を心がけます。	
13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39 (98%)			1 (2%)		・引き続き支援計画書を示しての丁寧な説明と合意形成を心がけていきます。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36 (92%)			4 (8%)	・参加はできませんでしたが、家族支援の機会が多くありました。 ・実際参加させて頂き非常に勉強になりました。	・ペアレントトレーニングや茶話会の開催をしています。更に内容や設定を工夫し、より多くの方へ参加して頂けるようにしていきます。また広い周知を行っていきます。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	40 (100%)			・毎回活動報告や変わったことなど細かく聞いて下さり、家での様子も伝えることができました。	・引き続き丁寧な情報共有、共通理解を心がけていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40 (100%)			・丁寧に詳しく説明してくれて、こちらの話も聞いてくれる。	・必要に応じて支援や情報提供に努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40 (100%)				・引き続き全職員が共感的に支援を行い、安心できる場所作りを心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33 (86%)	3 (6%)	4 (8%)	・イベント時など、本人も嬉しそうで、本人の妹も楽しく参加させていただいている。 ・夏祭りすごく良かったです。 ・季節の行事に弟も参加させていただき、家族で楽しむことができました。茶話会の案内もあり、保護者交流の工夫もされているなど思いました。 ・兄弟向けのイベントではありませんが、夏まつり等は一緒に参加させていただいて楽しんでいます。	・家族で参加できるイベントは年に数回計画しておりますが、兄弟を中心にした交流イベントの計画はありませんでした。利用者様やご家族のニーズに併せて検討していきたいと思えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37 (94%)	1 (2%)	2 (4%)		・相談や申し入れに対する体制は整備しており、緊急時等にも人員体制さえ整備は適切に対応を行っています。契約時等に説明を行っていましたが、今後定期的な周知などもしていきたいと思えます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38 (96%)	1 (2%)	1 (2%)	・通所した時の内容など、毎回お話ししてくれる。	・送迎などの引き渡し時には通所の様子を簡単にお伝えしたり、コードモンなどのアプリで1日の流れを共有したりしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38 (96%)	1 (2%)	1 (2%)	・こまかく連絡してくれている。返信も早い。 ・ホームページ、SNSは見たことがありませんが、アプリで行事予定や連絡が見れることは便利でした。 ・拝見したことがないためわかりません。	・今年度はホームページのリニューアルを行いました。コードモンでは毎月の予定やお知らせの配信、各種連絡ツールとして活用しています。今後必要な情報を積極的に発信していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39 (98%)		1 (2%)		・個人情報については丁寧に取り扱いを行っています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37 (94%)	1 (2%)	2 (4%)	・地震を想定した避難訓練を先日実施して下さりました。	・各種マニュアルの整備はされていますが、周知の機会が少なかった為、認知のされにくさがあったと思われます。各種訓練は毎月行っていますので、それらの周知は引き続き行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35 (90%)		5 (10%)		・避難場所の確認、水害、地震、不審者など各種訓練を毎月1回以上は行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40 (100%)				・引き続き安全計画の周知と、緊急時の対応が行えるよう、支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36 (92%)	1 (2%)	3 (6%)	・怪我ではありませんが、少しぶつけた等の小さな出来事も報告がありました。 ・先日、指をはさんでしまった際お迎え時に説明して下さいました。	・事故、怪我の大小を問わず事業所の療育支援時間内に発生した事柄は速やかに報告を行うようにしています。引き続き適切な処置と連絡・説明を行ってまいります。
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40 (100%)				・はい！安心して通所させていただいています。	・引き続き、ご利用者様もご家族も安心して通える事業所を目指して努力してまいります。
28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38 (96%)	2 (4%)			・嫌がらず、毎回楽しく通所しています。 ・毎回楽しみに通っています。 ・スマイルさんに行く日は、朝から予定を聞くようになり毎回すごく楽しみに通っています。 ・はい！とても楽しみにしています。	・楽しい、また来たい、と思ってもらえるような活動と「できた」を実感しながら自信を育むプログラムを目指してまいります。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	40 (100%)		<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。 ・家庭や学校での気になる出来事など悩みを聞いて下さり、共有していただき見守って下さっているのでもありがたいです。感謝しています。 ・いつもありがとうございます。 ・大変満足です。 ・気持ちの切り替えが上手になり、自分でどうするべきかをよく考えられるようになったと思います。支援内容にとても満足しています。 ・はい！母子共々、満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有り難うございます。現状を維持しながらも、更に専門性の高い療育を提供できるよう、職員一同努めてまいります。
-----	----	------------------	--------------	--	---	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 こども支援センタースマイルきむら

公表日 2025年1月21日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・広いスペースがあり支援室の真ん中でスペースを区切る事が出来、集中できる環境等を作ることが出来ます。	・大きく体を動かす際などには、安全に配慮しながらスペースの確保を行っている。引き続き快適に過ごせる空間作りを意識していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・定員10名に対して職員5名の適切な配置数となっています。	・活動内容などによってはもう少し人員に余裕をもって支援に入りたいと思う時もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・ホワイトボードなどに1日の流れが提示されているなど視覚的に工夫しわかりやすい構造化ではあると思います。	・必要な箇所の修理をしてもらいたい。 ・緊急性のある部分から補修の手配が進むようにしていきます。安全に過ごせる環境作りに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・毎日の療育終了後に職員で清掃を行っています。不特定多数が触る箇所や玩具などは定期的に消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・個室の利用状況にもよりますが、空いていればクールダウンや個別療育に使用できる部屋が複数あります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・終礼の時間を活用できていると思います。	・事後ミーティングで出来たらいいと思うが時間調整を考える必要があると思う。 ・時間不足の時がある。 ・時間の有効活用と全体周知の工夫を行います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・全体ミーティング時に結果を報告、改善への話し合いを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・職員間での意見を吸い上げ、改善に活かすように努めています。	・時間が不足しているように感じます。 ・時間の有効活用と、いつでも話がしやすい職員間の関係作りに努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	・公的な第三者による外部評価ではありませんが、それに準ずる内部監査事業所との契約をしており、月に1回程度の内部監査評価を設けています。	・周知が徹底しておらず、非常勤職員の中には知らない者もいたので、結果報告も含め周知を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	3	・作成されています。	・公表、また周知を徹底したいと思います。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	9		・保護者様からのアセスメントを元にニーズを把握し、実際の利用状況などを見ながら支援計画作成、更新を行っています。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			・共通理解する時間が不足。 ・簡単な情報共有は行っていますが、非常勤職員の勤務時間内に全ての情報を共有する時間の確保が難しいのが現状です。時間の捻出と、要点を押さえた情報整理をし、周知しやすい工夫を行っています。
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・支援計画を元に月のプログラムを作成したり、個別のプログラムに反映したりしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・Vineland-II,S-M社会生活能力検査などのフォーマルなアセスメントをベースにした質問紙を活用するなどして現状と次の目標値を正確に定めるようにしています。日々の様子を絡めながら状況把握を行っています。	・フォーマルなアセスメントは強化したい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・適切な項目を定め、具体的な支援内容を設定しています。保護者様や本人の思いを反映した内容になるよう、努力しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・プログラムミーティングを月1行い利用者さんのねらいに沿ってプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・大まかな項目は同じでも、内容が変化するように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	9		・集団生活で身につけたい事柄、個別のプログラムで伸ばしたい事柄と分けながら適宜支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・支援開始前には必ずミーティングの時間があり支援内容、役割分担について情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・支援の個人記録を作成し、職員間で情報共有しています。	・時間不足の時がある。 ・毎回必ず事後ミーティングを行っていますが、日によっては勤務時間内に十分話きれない場合もあります。適切な時間配分と内容の精査を工夫していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9		・ボランティアの人形劇団の方に行事を依頼しています。	
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9				
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		・保育園や学校との連携はもう少し図っていきたい。 ・医療の利用者様が少ないという事もあるかもしれませんが、医療との連携もありません。協力医の先生はおられる為、関係を作っていけたらと思います。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4	・ペアレントトレーニングの指導に来て下さっているクローバーの相談員さんには、ペアトレについての助言等をいただいています。	・ペアトレについても参加職員のみでの助言で、他の職員が日頃の支援に対して直接スーパーバイズを受ける機会はありません。今後連携先のクローバーの方などをお願いできたらと思います。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・児童館にお出かけを計画していましたが、保護者同伴でないと入れないなど、なかなか利用自体が難しい場合があります。色々な経験を重ねたり、地域理解を広げる為にもお出かけは計画していきたいと思います。	・地域との連携は、今後必要な感染対策を行った上で、広げていけたらと考えます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送迎時や玄関先での対応の際に、本日の様子をお伝えするようにしています。得た情報は事後ミーティングにて共有するようにしています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・対象は未就学のみになりますが、毎年ペアレントトレーニングを開催、参加募集を行っています。	
	32	【児童事業所・児童センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		・園送迎時には情報交換を行っています。じっくり話をする時間はとりにくいです。先生方との連携会議を行えるよう、関係作りを行っています。

この連携	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		・支援学校とはケースによって会議を行い相互理解を図れる事も増えてきましたが、地域小学校についてはなかなか難しいのが現状です。相談員さんを含め、関係作りに努めます。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	2		
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9			
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	7		・施設長が参加をしていますが、非常勤職員等への周知が足りず知らない者が多くいました。今後も積極的な参加と、内容報告などの周知を行っていきます。
	37	【放デイのみ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	9			・基本的には保護者様を通じて連絡をさせて頂いていますが、実際の送迎の現場では情報共有を行ったり、緊急時の対応をしたり適宜連携を行っています。
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3		・あまり機会がない為、今後増やしていきたいです。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		・必要に応じて行っていますが、高等部まで在籍する生徒が少なく近年では実例が少ないです。
	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		・上記問36と同じく周知がされていませんでしたので、今後は内容報告などの周知を行っていきます。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			・契約時に行っています。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・計画作成時に確認しながら合意形成を図っています。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			・支援計画作成時や、更新時には必ず保護者様への説明を行っています。同意を得てからサインを頂き、控えをお渡ししています。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			・茶話会や夏祭り、クリスマス会など家族で楽しんで参加してもらえるようなイベントを計画しています。保護者同士の交流が生まれるようにも促しています。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			・責任者が対応を一本化し、内容の確認、報告、対応を速やかに行っています。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			・毎日の活動の様子を保護者アプリを通して発信しています。(月の予定なども)
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			・個人情報については契約時に同意を得る事を徹底して言います。また、取り扱いには十分留意をしています。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			・必要に応じて支援ツールを利用したり、学校・園、他施設との一貫した意思疎通方法を確認しながら支援を行うようになっています。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		・地域住民を招待する、といった機会はありません。保護者様のニーズを把握した上で、必要に応じて地域に開かれた運営を進めていけたらと思います。
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9				

非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・職員へは全体ミーティングでの周知を行っています。 ・月に1回程度水害や震災、防犯などに関する避難訓練を行っています。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・情報に関しては最新のものを全体共有するようにしています。また、緊急時の対応マニュアルを職員だけの目にとまる場所へ張り共有しています。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・現在医師の指示書が必要な強度のアレルギーがある児童はいません。今後必要に応じて対策を行います。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・支援計画作成時、災害発生時の対応については説明・確認を行っています。	・安全計画に沿っての周知は部分的に必要な箇所のみであるため、さらに丁寧な周知を心がけます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・月1ミーティングで職員全体で共有し対策について検討しています。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・マニュアルに基づいて研修を実施しています。	
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	・現時点での該当児童なし。身体拘束に関する研修とミーティングでの全体周知は行えています。		